

「大正」

1912

〜

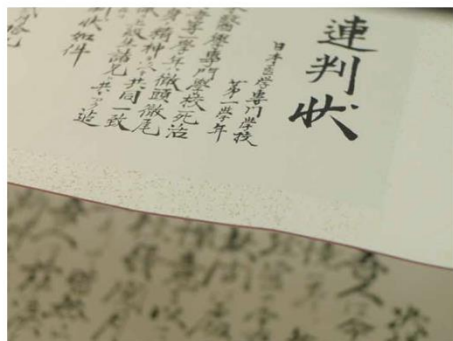
1926

理想の医学校を 自らの手で

1916年(大正5年)

5月 学生約450名が同盟退学

日本医学専門学校(現 日本医科大学)の学生約450名が同盟退学し、新校設立運動を開始



連判状

9月 東京医学講習所開設

東京物理学校内(現 東京理科大学)に、東京医学講習所を開設



学生団本部長

1918年(大正7年4月)

東京医学専門学校設立

長く官界にあった高橋琢也先生が学生団の懇請を受け全私財を投じ全国を奔走。医学界、政界、財界の有志から多大なる支援を受け、東京医学専門学校を設立。



高橋 琢也 先生



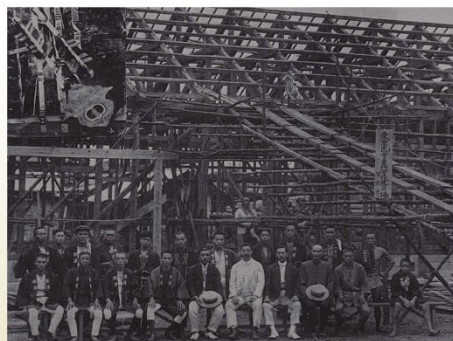
佐藤 進氏



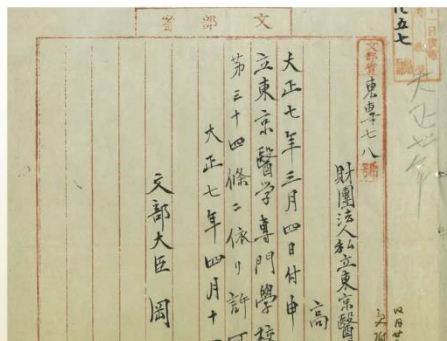
中濱 東一郎 氏



森 鷗外 氏



建設中の東京医学専門学校



設立認可書

「昭和」

1926

1989

1

改革・進化の歴史

1931年(昭和6年5月)

附属淀橋診療所を開設

大正13年に開院した「博済病院」の大部分が火災により焼失。その後、西新宿(旧 淀橋区柏木町)の地に、附属淀橋診療所を開設。(のちに「博済病院」を統合し「附属淀橋病院」に改称)



淀橋診療所



淀橋病院正門

1946年(昭和21年5月)

東京医科大学設立が認可

終戦後、復興に向けて学生・教員が奔走、昭和21年東京医科大学設立の認可を得る。それに伴い、附属淀橋病院を東京医科大学病院と改称。

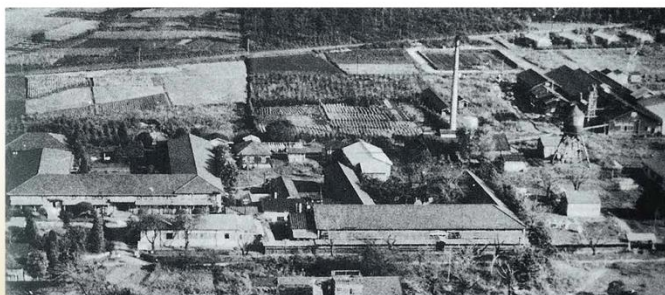


昭和4年に竣工した基礎医学教室(現 第一校舎)

1949年(昭和24年9月)

東京医科大学霞ヶ浦病院開設

大学としての設備拡充のため元海軍霞ヶ浦航空隊の医務室跡地に開設された茨城県農業会新治協同病院阿見分院の譲渡が成立。東京医科大学霞ヶ浦病院として新たに発足した。



東京医科大学霞ヶ浦病院

1964年(昭和39年4月)

附属高等看護学校設立

附属病院の病床拡充・外来棟の拡張計画にあたり准看護婦不足が深刻な問題となり、昭和32年に准看護婦学校を創設。その後、看護婦不足解消のため、附属高等看護学校が開設された。(のちに東京医科大学看護専門学校に改称)



附属高等看護学校

1975年(昭和50年4月)

附属霞ヶ浦高等看護学校設立

社会福祉に努める有能な看護婦養成を目的とし昭和50年、附属霞ヶ浦高等看護学校を設立。(のちに東京医科大学霞ヶ浦看護専門学校に改称)



附属霞ヶ浦高等看護学校

1980年(昭和55年4月)

東京医科大学八王子医療センター開設

昭和55年、八王子市館町に医療センターを開設。市の念願であった「八王子に高度な医療施設」を実現させた。



東京医科大学八王子医療センター

1986年(昭和61年4月)

東京医科大学病院(現 病院)竣工

昭和56年の工事着工以来、実に4年間にわたる大工事を経て昭和61年12月18日、西新宿に竣工。



東京医科大学病院(現 病院)

「平成」

1989

次の100年へ 新たな一歩

2013年

(平成25年4月)

東京医科大学医学部
看護学科を設置

創立以来初の新学科として、国内最高レベルのシミュレーション教育を実施する体制を備えた医学部看護学科を設置。



第一看護学科棟

教育研究棟
(自主自学館) 竣工

臨床医学系教員の研究拠点として、また主に臨床実習を行う医学生の教育の場として新たな教育研究棟を竣工。

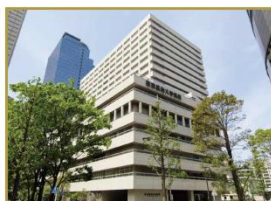


教育研究棟(自主自学館)

2016年(平成28年) 東京医科大学創立100周年



大学



大学病院



茨城医療センター



八王子医療センター

2019年

新大学病院完成予定

診療機能の充実と効率化を推進し、高度化する医療技術と多様化する医療ニーズへの対応を図る。また、都心に位置する地域災害拠点中核病院としての機能をより強化することを目指す。2019年竣工・開院を予定。



新大学病院完成予想イメージ
(2015年3月20日現在)